

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2022 JA佐渡の経営内容



写真： 岩首地区棚田からの風景

プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	23.2億円
総 資 産	1,250億円
組 合 員 数	14,994人 (正組合員 7,010人・准組合員 7,984人)
職 員 数	436人
店 舗 数	本店、支店 6店

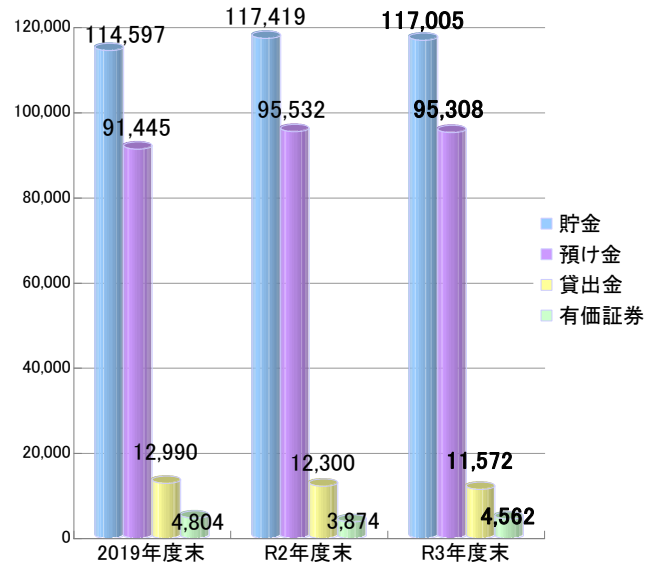
令和3年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の推移

(単位:百万円)

	2019年度末	R2年度末	R3年度末
貯金	114,597	117,419	117,005
預け金	91,445	95,532	95,308
貸出金	12,990	12,300	11,572
有価証券	4,804	3,874	4,562

- 貯金残高は公金の減少、相続貯金の島外流出により、前年比99.6%となりました。
- 貸出金は、新築等の資金需要が低迷する中、リフォームローンや住宅ローンの借換推進など有利な資金提案に取り組み、新規実行額は6億5,456万円、住宅ローン残高は53億4,062万円(前年比101.8%)と増加しているものの、公的資金等大口融資の償還などから前年比94.0%となりました。

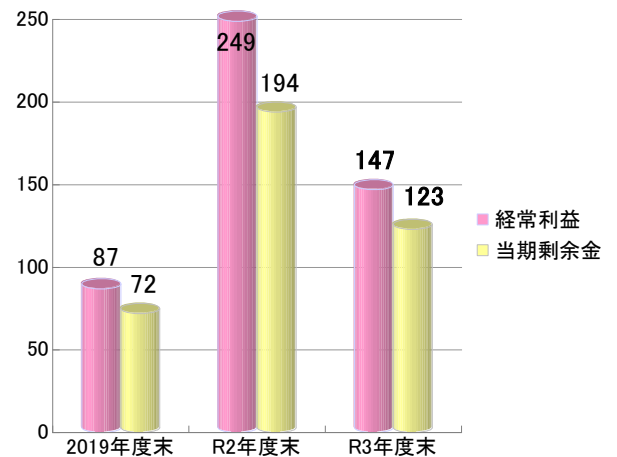


収益等の推移

(単位:百万円)

	2019年度末	R2年度末	R3年度末
経常収益	8,273	7,774	7,862
経常費用	8,186	7,525	7,715
経常利益	87	249	147
当期剰余金	72	194	123
未処分剰余金	82	238	176

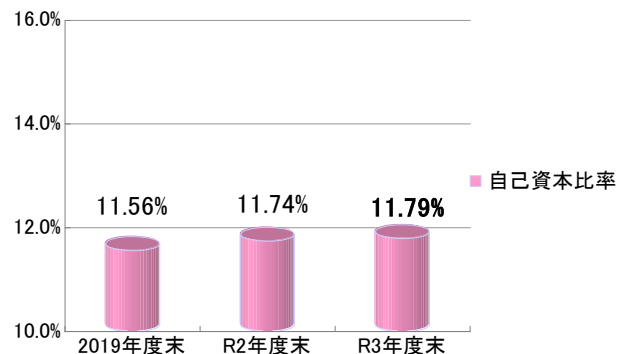
- 令和3年度の事業総利益は前年を113百万円下回る2,679百万円となりました。事業管理費は前年を21百万円下回り、結果として83百万円の事業利益となりました。
- 最終損益は、123百万円の当期剰余金となりました。



自己資本比率の推移

(単位:百万円)

	2019年度末	R2年度末	R3年度末
自己資本額(A)	5,565	5,709	5,776
リスクアセット(B)	48,130	48,610	48,989
自己資本比率 (A) ÷ (B) × 100	11.56%	11.74%	11.79%



- 当JAの自己資本比率は11.79%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや内部留保に努めています。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万が一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

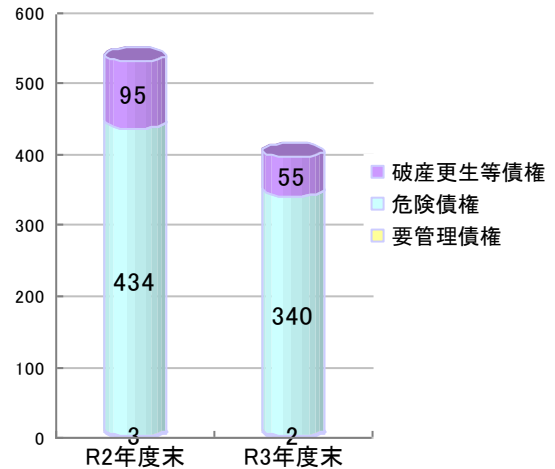
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円)

	R2年度末	R3年度末
破産更生等債権①	95	55
危険債権②	434	340
要管理債権③	3	2
小計(①+②+③=A)	534	398
正常債権④	12,017	11,279
債権額合計(A+④=B)	12,551	11,677
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	4.25%	3.40%



開示債権と保全の状況 (R3年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	5	46	37	100.0%	破産更生等債権	55	破綻先債権	4
実質破綻先	78						延滞債権	390
破綻懸念先	361	213	97	86.01%	危険債権	340	3か月以上延滞債権	-
要注意先	要管理先	6	0	81.37%	要管理債権	2	貸出条件緩和債権	2
	その他要注意先						287	合計
正常先	13,797				正常債権	11,279		
合計	14,539				合計	11,677		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	R2 年度末			R3 年度末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
そ の 他	3,911	3,874	△36	4,624	4,562	△62
合 計	3,911	3,874	△36	4,624	4,562	△62

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・暮らしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」として社会的責任を担っております。

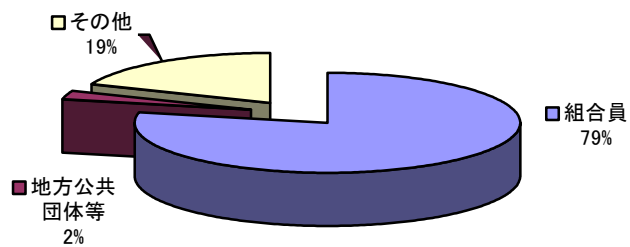
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長、土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様の暮らしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	91,958
地 方 公 共 団 体 等	2,667
そ の 他	22,379
合 計	117,005

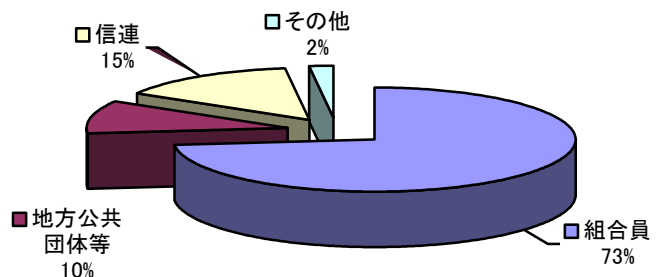


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	8,499
地 方 公 共 団 体 等	1,181
信 連	1,680
そ の 他	211
合 計	11,572



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC（営農経済渉外）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「農業経営アドバイザー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟またはJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

主な農業関係の貸出金残高（資金種別別）

〔貸出金〕

（単位：百万円）

種 別	R2 年度末	R3 年度末
プロパー資金	1,388	1,319
農業制度資金	216	181
農業近代化資金	127	101
その他制度資金等	89	79
合 計	1,605	1,501

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

自己改革の取り組み

令和3年度は第9次中期3カ年計画（2019年度～令和3年度）の最終年度にあたり、独自の「自己改革」を含む水稲、園芸、畜産の3本柱の農業振興を柱とした「アクションプラン」に基づき、その実践に取り組みました。主な取り組みについて、次のとおり報告します。

◆農業振興等に関する取り組み

水稲では、暴風や低温・日照不足等が登熟に影響し作況指数95となりましたが、品質では「佐渡米未プロジェクト品質向上90」の継続的な取り組みなどにより、コシヒカリの1等米比率は90.3%となりました。また、穀物検定協会における食味ランキングの「特A」復活をめざし「おいしい佐渡米研究会」を設置し、「おいしいさ」と「みばえ」を兼ね備えた佐渡米「づくりの実践策を定め、「土づくり資材の積極施用推進」や「おいしい佐渡米コンテスト」の開催に取り組みましたが、残念ながら「特A」復活には至らず次年度への課題となりました。

園芸では、導入品目候補として、関係機関の支援も得ながらキャベツ・ブロッコリー・玉ねぎ、ネギなどの試験栽培に取り組んでいます。凍霜害の大きかったおけさ柿では、農家指導員「おけさ柿指導員」による巡回指導を継続実施し、栽培管理技術の普及・高度化を進めました。またアスパラガスでは、安定生産にむけた個別面談台帳を整備し課題対策を共有し栽培管理の改善につなげました。

畜産では、家畜市場の上場頭数が362頭まで増加し、そのうち134頭はCBSから出荷されました。また、CBS生産牛の市場評価を高めるため、子牛のDG（1日増体重）1kg以上の安定的な確保に向けて、衛生・給餌などの子牛管理体制の確立に取り組みました。

◆農業経営支援の取り組み

農業融資担当とTACとの連携により、大規模生産者や農業法人等を中心に訪問活動を実施し、資金相談等に取り組みました。また、凍霜害、米価下落に伴う運転資金確保のため、特別金利による「緊急農業経営安定対策資金」、「災害復旧支援資金」に取り組み、24件、2,821万円を融資しました。

◆経営改善の取り組み

令和4年5月の金融店舗再編について、総代会での決議に基づき実践に取り組む他、経済事業の収支改善を中心とした経営収支改善の方策について経営改善委員会で継続して協議を実施しています。

事務の集約・合理化等による事業管理費削減に向け、組合外の会議については、Web会議の利用を促進し出張旅費の削減に努めました。また、組合内の会議についてもWeb会議に移行すべく環境整備を行いました。

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

- ◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。
- ◇農産物直売所 : 平成26年にオープンしたJA直営直売所「新鮮空間よらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。
- ◇セレモニーホール : 増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。
- ◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。



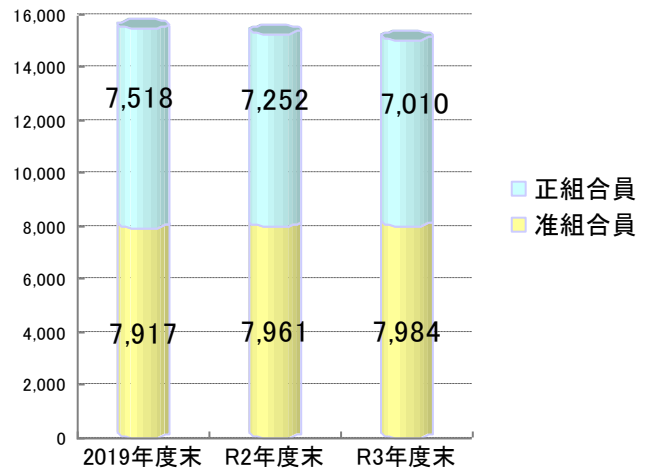
写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

組合員数の推移

(単位：組合員数)

	2019年度末	R2年度末	R3年度末
正組合員	7,518	7,252	7,010
准組合員	7,917	7,961	7,984
組合員計	15,435	15,213	14,994



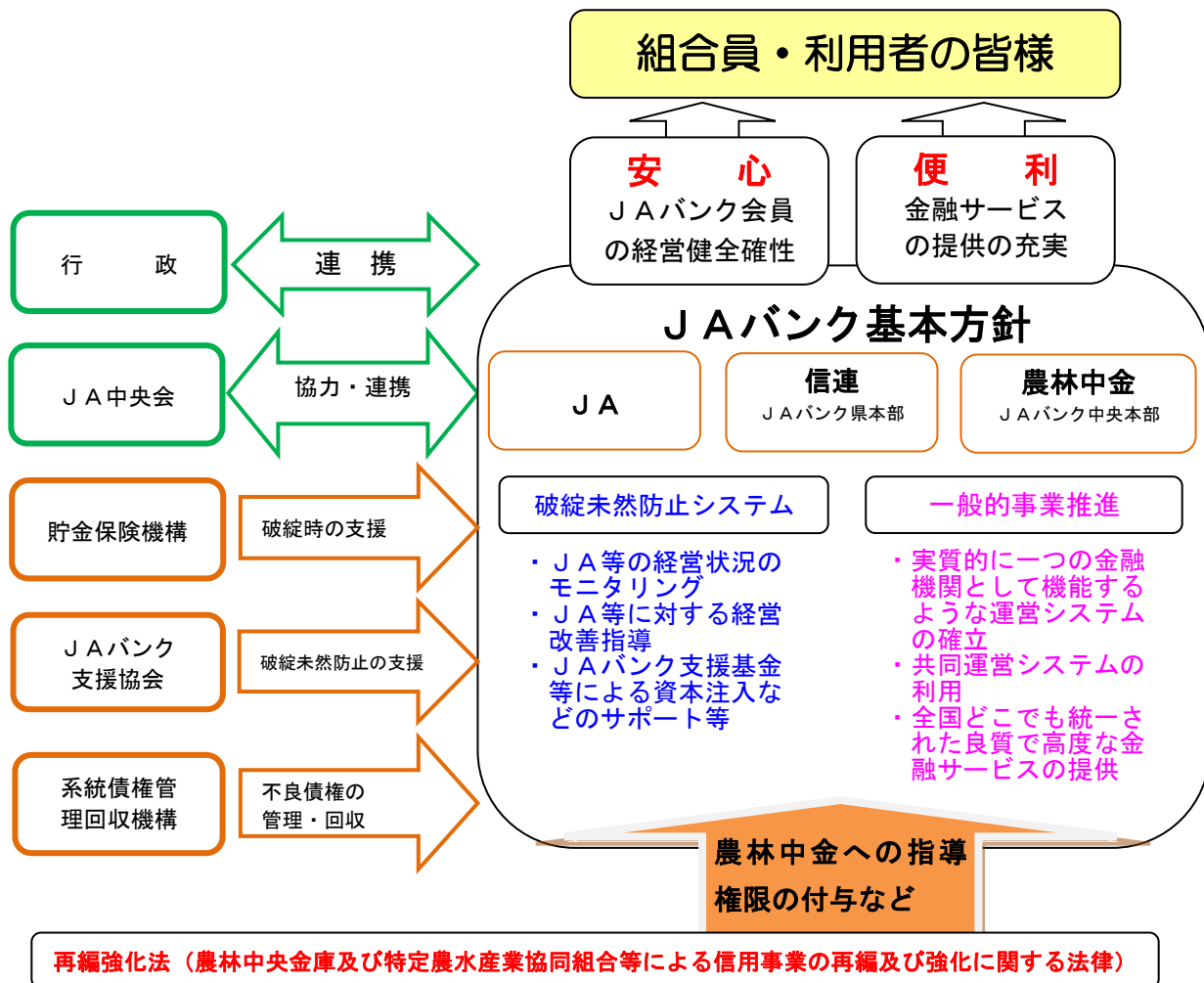
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者みなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

+

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>



佐渡を世界遺産に

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。